

戦評用紙

大会名	平成29年度山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	----------------------------

日時	2017年10月29日 14:25 ~	区分	(一財)山形県バスケットボール協会
----	---------------------	----	-------------------

チームA				チームB
酒田南				日本大学山形
69	26	1Q	23	100
	14	2Q	25	
	12	3Q	28	
	17	4Q	24	
		延長		

【戦評】

今年度の男子決勝戦は、準決勝で夏の優勝校羽黒高校を倒し初めての県制覇を目指す酒田南高校と、夏の雪辱を期す日本大学山形との対戦となった。白のユニホーム酒田南は#4・5・6・7・8、赤のユニホーム日本大学山形高校は#5・6・7・8・9がスターティングメンバー。

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで開始。序盤は両チームとも点を取り合う展開。5分白がオフェンスリバウンドを連続で奪ったところで、赤が1回目のタイムアウト。白12-11赤。タイムアウト明けも一進一退の攻防が続く。7分、赤のドライブがなかなか決まらない間に白が連続で得点を重ねる。ここで白はディフェンスを2-3ハーフコートゾーンディフェンスに変える。その後は互いにペースを握らせないまま試合が展開していった。白26-23赤。

2Q、赤はゾーンディフェンスに対して3Pシュートを連続で決め点差を詰める。一方白も#4・7がミドルシュートを決め主導権を渡さない。5分、両チームとも厳しいディフェンスで得点が止まってきたところで白が1回目のタイムアウト。白32-32赤。その後赤が連続で3Pシュートを決め、点差を3点に広げたところで、白は2回目のタイムアウトを取る。白36-39赤。その後は赤が優勢に試合を進め2Q終了。白40-48赤。

3Q、白はディフェンスをマンツーマンに戻す。白は#6の3Pシュート、#4のバスケットカウントなどで反撃を試みる。しかし5分、赤の#5・7が連続で3Pシュートを決め点差を広げる。たまたま白が後半最初のタイムアウト。白46-61赤。白は#5・6がミドルシュートを狙うが単発になり、なかなか点差を詰められない。一方赤は#7のドライブや#8がロングシュートを決めるなど徐々に点差を広げていく。8分、白は後半2回目のタイムアウト。白49-70赤。しかしタイムアウト後も赤のペースは変わらないまま3Q終了。白52-76赤。ここまでで最大の点差がつく。

4Q、白は積極的にシュートを狙い反撃を試みるものの、攻撃の手を緩めない赤のシュートが連続で決まり点差は広がっていく。白も最後まで諦めることなく攻撃をしていくが、赤がオフェンスディフェンスともにリバウンドを支配し始め、反撃の芽を摘んでいく。最後は白69-100赤と31点差をつけて、日本大学山形高校が優勝を手にした。

優勝した日本大学山形高校は高い攻撃力が目立ったが、守備力もしっかりと鍛えられた好チームだった。一方身長差で劣る酒田南高校も、最後まで粘りと諦めない姿勢には目を見張るものがあった。好ゲームを繰り広げた両チームの健闘を讃えたい。

戦評者

神位 裕介